

New



kubernetes技術者認定試験 「CKA/CKAD/CKS」

**Kubernetesの管理者・アプリケーション開発者、
そしてセキュリティの観点からの技術力の証明と
なる3つの認定！**

■CKA試験

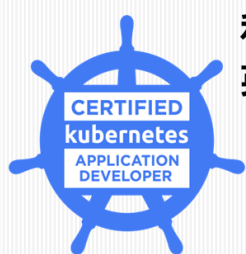


和名：Kubernetes管理者認定試験（CKA試験）

英名：Certified **K**ubernetes **A**dministrator Exam

CKA試験は、認定を取得するとKubernetesの管理者に必要なスキル、知識、および能力が備わっていることを証明できます。

■CKAD試験



和名：Kubernetesアプリケーション開発者認定試験（CKAD試験）

英名：Certified **K**ubernetes **A**pplication **D**eveloper Exam

CKAD試験は、認定を取得するとKubernetes用のクラウドネイティブアプリケーション開発者に必要なスキル、知識、および能力が備わっていることを証明できます。

■CKS試験



和名：Kubernetesセキュリティスペシャリスト認定試験（CKS試験）

英名：Certified **K**ubernetes **S**ecurity **S**pecialist

CKS試験は、認定を取得するとさまざまなベストプラクティスのスキル、知識、およびコンピテンシーを備え、ビルド・デプロイ・ランタイム時にコンテナベースアプリケーションやKubernetesプラットフォームを保護できることを証明できます。

クラウドネイティブ技術者としての活躍が期待できる！

◇ kubernetesを学ぶ価値

- Kubernetesはクラウドを含めた仮想空間のオペレーティングシステムに相当
 - ・ サービス、アプリの柔軟なデプロイを実現
 - ・ 瞬間的な高負荷に対応できるスケールアウト/インを実現
 - ・ 障害発生時に敏速に復旧可能な高可用性を実現
 - ・ レガシーシステム連携を実現
 - ・ 異なるクラウド連携を実現
 - ・ コンテナ、仮想マシンなど多様な実行単位に対応
- 業界のグローバルデファクトスタンダード
- 多くのパブリッククラウドがkubernetesのマネージドサービスを提供
 - ・ ベンダのサービスと連携した使いやすい機能提供が目的

Kubernetes以外のOSSとの連携によって実現される中心にKubernetesがある

Kubernetesを通してクラウド・DXを支える技術の仕組みを学べ、クラウドネイティブ技術者としての活躍が期待できる

◇ kubernetesを学ぶ必要性

マルチ/ハイブリッドクラウドとオンプレ回帰への対応が必要

- ・ 異なるクラウド利用は避けられない
買収、統廃合、組織変更によるシステム統合・連携
- ・ クラウドにより得意なサービスが違い、使い分けが有効
サービス単位、階層化などにより多彩な利用方法が可能に
- ・ クラウド移行後に見えてくる利用料の高額化
増加するデータ量、増加するサービス利用
- ・ 自由度の高いオンプレクラウドとしてオンプレへ回帰
一度リフト&シフトしていればどこへでも移行が容易

**キーになるのは仕組みのわかるクラウドネイティブ技術者！！
特定のベンダークラウドの技術者ではない！**

お問い合わせ

特定非営利活動法人 LPI-Japan
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1
飯野ビルディング9F
TEL : 03-6205-7025
E-Mail : info@lpi.or.jp